

平成20年12月15日

福島県生活環境部
消費生活課
電話(直通) 024-521-7736

石油製品の価格動向調査の結果について

県内の石油製品4品目について、12月1日～9日（6、7日を除く）に価格動向調査を実施しましたが、その結果については以下のとおりです。

1 石油製品の価格動向調査の結果（非定店調査）

（単位：円、消費税込み）

品目名	規格・容量	店舗形態	前月調査の 平均価格	12月調査の 平均価格	対前月比 (%)
ガソリン	レギュラー1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	134	120	▲10.4
		セルフ	132	117	▲11.4
軽油	個人消費向け1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	125	115	▲8.0
		セルフ	121	111	▲8.3
灯油	店頭価格、18ℓ	一般店舗	1,530	1,325	▲13.4
		セルフ	1,502	1,247	▲17.0
	配達価格、18ℓ	一般店舗	1,701	1,453	▲14.6
LPガス	一般家庭用、10m ³	一般店舗	7,607	7,592	▲0.2

◎ 12月調査では、すべての品目で値下がりした。

原油価格の下落により、ガソリンが対前月比14円安（▲10.4%）、軽油が対前月比10円安（▲8.0%）、灯油が対前月比205円安（1ℓあたり11.4円、▲13.4%）となり、これらの3品目は4か月連続の価格下落となった。

ガソリン価格は、平成18年5月の緊急調査開始以来の最安値で、ほぼ3年10か月ぶりの水準となった。また、軽油は暫定税率が失効した本年4月を除き、ほぼ1年6か月ぶり、灯油はほぼ1年7か月ぶりの水準まで価格を下げている。LPガスは、対前月比15円安（▲0.2%）となった。

原油価格の下落基調が続いているため、石油元売においては12月中旬の卸価格引き下げを表明しているところもあるが、大規模な減産の動きもあり、海外原油市場の動向と併せ、石油製品の価格・需給動向を引き続き注視していく必要がある。

[参考：調査方法等]

(1) 県内7振興局において、調査期間（上記記載）に調査店舗に出向き、当該店舗において表示価格の確認及び聞き取りにより価格を調査（各調査店舗における価格は、調査期間中における任意の調査日・時間現在の価格）。

(2) 各振興局における調査店舗数は次のとおり

ガソリン：一般店舗5、セルフスタンド2、軽油：一般店舗5、セルフスタンド2

灯油（店頭）：一般店舗5、セルフスタンド2、灯油（配達）：一般店舗7

LPガス：一般店舗7

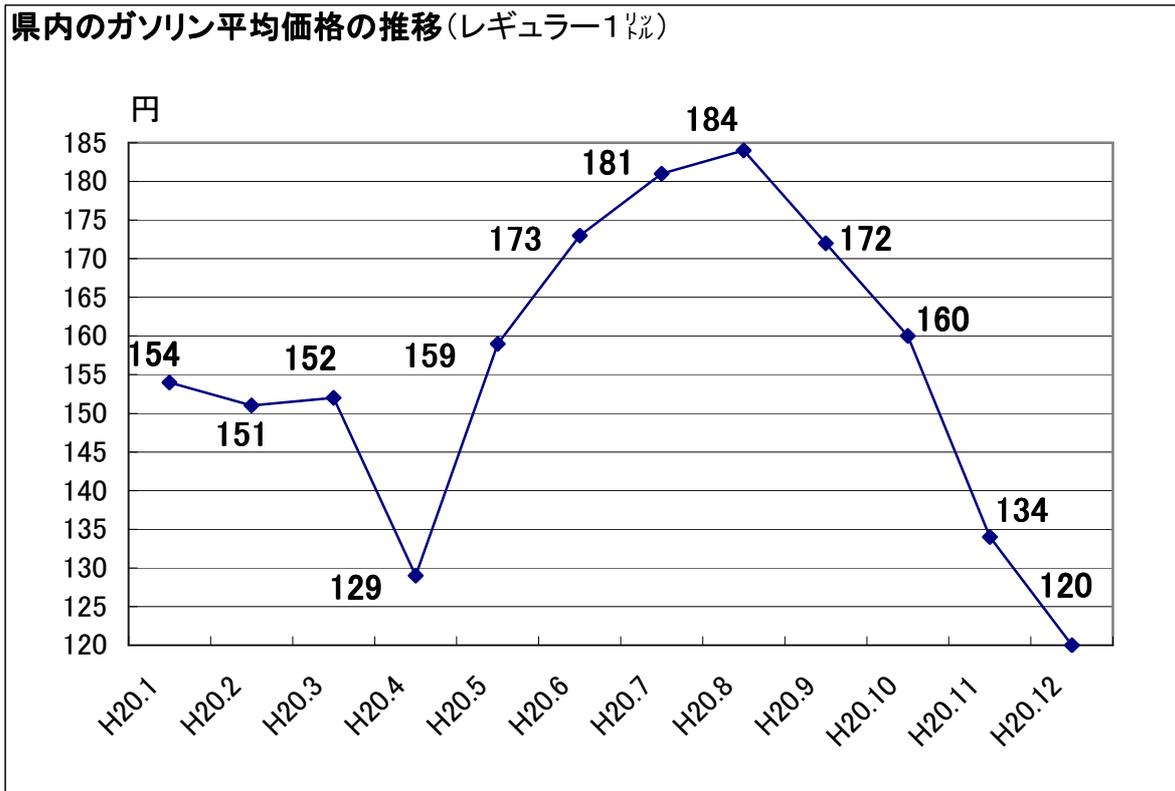
(3) 上記の結果は7振興局における調査結果の平均値。

例：ガソリン（一般店舗）：7振興局×5店舗＝35店舗の平均値

2 県内の石油製品価格の推移

(1) ガソリン価格

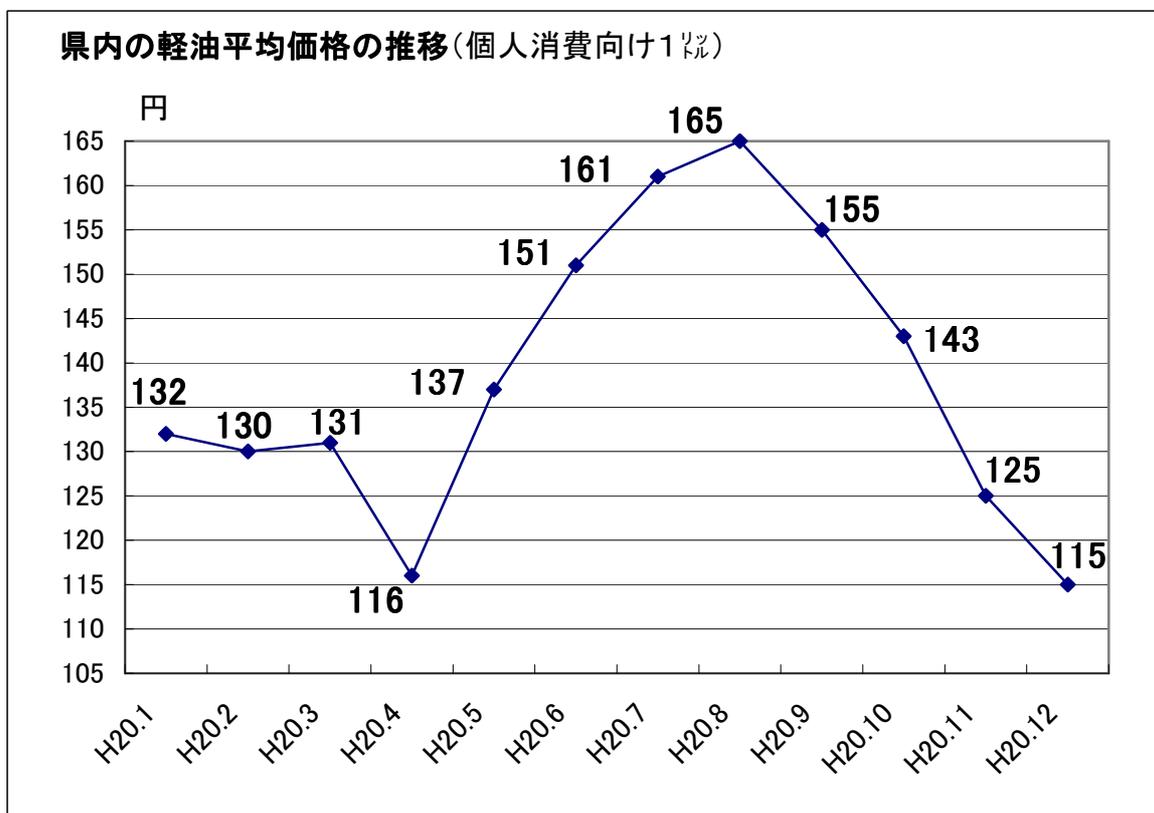
※ 一般店舗価格



◎ 11月調査と比較し、12月は14円値下がりし120円となった。

(2) 軽油価格

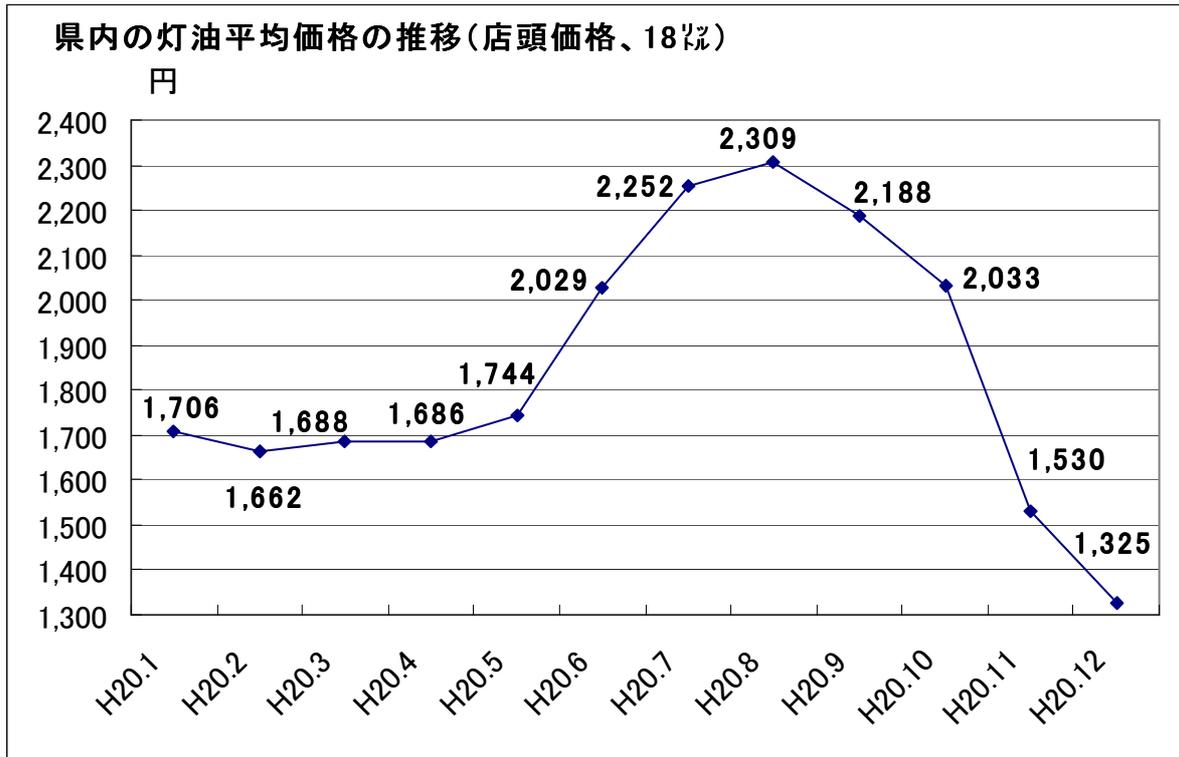
※ 一般店舗価格



◎ 11月調査と比較し、12月は10円値下がりし115円となった。

(3) 灯油価格

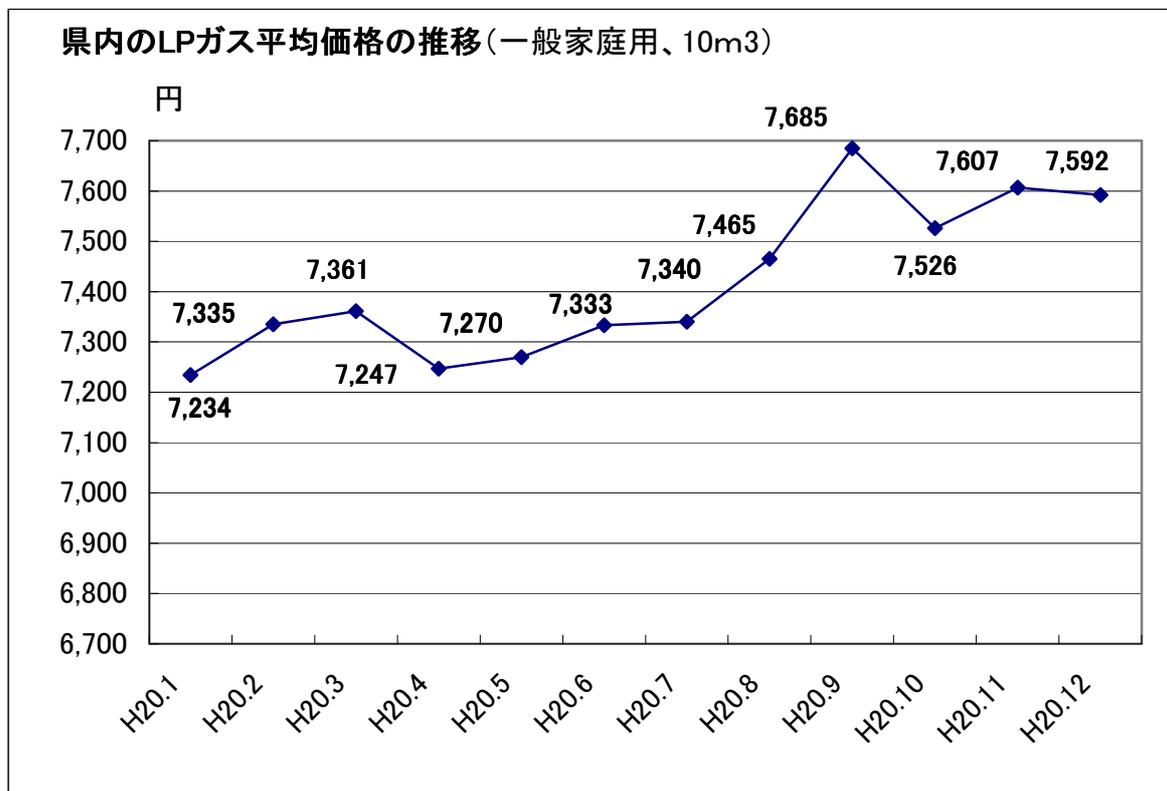
※一般店舗価格



◎ 11月調査と比較し、12月は205円(1ℓあたり11.4円)値下がりし、1,325円となった。

(4) LPガス価格

※一般店舗価格



◎ 11月調査と比較し、12月は15円値下がりし、7,592円となった。